福祉だいご

No.75
令和４年11月１日発行

社会福祉法人
大子町社会福祉協議会
会長 高梨哲彦
住所：大子町大子722－1
電話：0295-72-2005
FAX：0295-72-1121

本号の内容

●令和３年度社協事業報告・決算 ……P２－３
●令和４年度社協事業計画・予算 ……P４
●理事評議員紹介・賛助会費報告……P５
●赤い羽根共同募金・日常生活自立支援事業…P６
●知りたい福祉教室・ファミサポ……P７
●善意銀行・預託金報告……P８

第27回いばらきねんりんスポーツ大会

大子A組　クロッケー準優勝おめでとうございます！

10月13日　笠松運動公園にてねんりんスポーツ大会が開催されました。
大子町からは各種目予選を勝ち抜いた４チームが出場し、クロッケーに出場の大子A組が準優勝という素晴らしい成績をおさめられました。

令和３年度　大子町社会福祉協議会　事業報告

長寿化・少子化による高齢社会の中で多様化するニーズに対し、町民の理解と協力を得ながら、福祉・保健・医療関係者、各種団体・施設・ボランティアとの連携を図り、子どもから高齢者、障がい者“だれもが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくり”を目指し、各事業を実施しました。主な事業を下記のとおり報告いたします。

■地域福祉事業

ボランティア活動の推進

ボランティア活動に関する相談や情報提供等を行いながら、必要に応じてボランティア活動を希望する人と必要としている人の橋渡しを行った。

地域福祉活動推進事業

全地区で区長、民生委員児童委員が中心となり、地域における特性を生かして実施されているひとり暮らし高齢者等の配食サービスや、日用品配付、訪問活動に補助金を交付し、地域住民の交流の機会の確保や地域福祉の充実に努めた。

在宅介護用品等貸出事業

車いす対応福祉車輌、介護用ベッドなどの無料貸出を行い、在宅介護者の負担軽減に努めるとともに要介護者が自宅で安心して生活し続けられるよう支援を行った。
（延件数：福祉車輌 47 件・車いす 35 件・介護用ベッド 43 件）

あんしんコール事業

ボランティアの協力を得て、プライバシーを守りながら、ひとり暮らし高齢者等と定期的に会話をすることにより、在宅生活の不安解消に努めた。
（開設日数 141 日　利用者数 22 名　延件数 968 件）

友愛訪問活動事業

各地域の単位老人クラブと連携し、ひとり暮らしや寝たきり高齢者となっても住み慣れた地域で、同世代の仲間同士と励まし支えあいながら住み続けられるよう地域づくりの推進に努めた。（訪問実人数 215 名）

日常生活自立支援事業

認知症の高齢者や知的または精神的に障がいのある方など判断の能力が不十分で、かつ親族などの援助が得られない方に対して生活支援員が福祉サービスの利用手続きの援助や、日常生活の金銭管理援助及び書類等の預かりサービスを行い、地域で自立した生活が送れるよう支援した。（利用者数 19 名　訪問回数 602 件）

生活福祉資金貸付事業

新型コロナウイルス感染症の影響により生活が困窮する世帯や低所得者世帯等で貸付を希望する方に対し申請に関する相談支援等を行った。

1 総合支援資金（特例貸付含む）貸付件数 57 件
2 福祉・教育・小口資金（特例貸付含む）貸付件数 95 件
3 新型コロナウイルス感染症の影響による特例貸付
○特例緊急小口資金　貸付件数 11 件
○特例総合支援資金　※延長貸付含む　14 件
○再貸付　貸付件数 10 件
※貸付金の財源は全額公費

介護用品事業

○介護用品宅配事業　　高齢者等に対して宅配により、毎月の上限額の範囲内で介護用品を支給した。
○介護用品購入費助成事業　　高齢者等を介護している方に対し、上限額を範囲内で介護用品の購入費用の全部若しくは一部の助成を行った。
（内訳）

事業名	申請件数	助成額
介護用品宅配事業	734 件	14,509,374 円
介護用品購入費助成事業	294 件	10,583,821 円

地域支え合いサービスセンター「さとも」事業

非営利的な有償による訪問サービスを行う住民参加型福祉供給組織「地域支え合いサービスセンターさとも」を設置し、高齢者や障がい者等の家事援助・話し相手等の様々な支援を行い、在宅での日常生活の充実を図るとともに、本人・家族の身体的・精神的負担の軽減を図る在宅福祉サービスの推進を行った。

利用会員数	協力会員数	活動延回数
66 名	32 名	822 回
活動延時間数		883.0 時間
（内訳）		
・食事の準備・片付け		76.9 時間
・住居内の掃除、整理整頓		511.3 時間
・生活必需品等の買い物代行		169.3 時間
・外出時の付添い		9.0 時間
・衣類の洗濯・補修		8.2 時間
・その他会員間で行うことがふさわしい支援		108.3 時間

■障がい福祉サービス事業

就労継続支援事業所「大子福祉作業所」「若草共同作業所」の運営

障害者総合支援法に基づき、在宅の障がい者のために日常生活に必要な社会性の訓練・軽作業を提供し、自立と社会生活への適応力が養えるよう就労支援事業所の運営に努めた。

○大子福祉作業所（定員 20 名）
・利用申込者数　　16 名
・開所日数　　240 日

・延利用者数　2,931 名
・１日平均　12.2 名
○若草共同作業所（定員 20 名）
・利用申込者数　21 名
・開所日数　240 日
・延利用者数　3,071 名
・１日平均　12.8 名

指定特定相談支援事業所の運営

障害者総合支援法に基づき、利用者が自立した日常生活・社会生活が送れるよう相談に応じた。
（契約件数 40 件）

■介護保険サービス事業

訪問介護事業所「リケア」の運営

介護保険法に基づき、要介護状態等の利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう訪問を行い、利用者に合わせた身体介護や生活援助を提供した。（延利用者数 1,199 名）

■受託事業

大子町文化福祉会館「まいん」指定管理事業

町民が安全に気持ちよく利用できるよう施設の適正な運営に努めた。（貸出件数 1,380 件）

ふれあい・いきいきサロン事業

高齢者等が身近な地域でボランティアと一緒に生きがいと健康づくりの企画運営を行う仲間づくり活動を通じて、高齢者の閉じこもり防止や孤独感の解消等が図れるよう活動支援を行った。（中央型９ヵ所・小地域型９箇所　参加延人数 4,783 名）

高齢者大学事業

高齢者の生涯学習・生きがい・健康づくりの推進のため、８回の学習会を開催した。（参加延人 205 名）

放課後児童クラブ事業

保護者が労働等により、昼間家庭にいない児童を対象に放課後や長期休業中の生活の場を確保し、児童の健全育成を図ることに努めた。（登録人数 58 名内長期のみ 11 名　開設日数 257 日　延利用者数 7,781 名）

子育て支援センター事業

未就学児とその家族や妊婦を対象に親子で自由に遊べる場、交流の場を提供し、育児に関する情報交換、相談の場として活用できるよう努めた。
・たんぽぽ広場の開設（登録人数　親 20 名　子 22 名　参加延人数 1,140 名）
・子育て支援室の一般開放（利用延人数 1,284 名）
・相談支援活動（相談人数 15 名　相談延件数 15 件）
・親子ふれあいコンサートの開催（新型コロナウイルス感染症拡大のため未実施）

ファミリー・サポート・センター事業

非営利的な有償による育児支援を行う「ファミリー・サポート・センター」を設置し、子育ての手助けをして欲しい方（利用会員）と手助けができる方（協力会員）の橋渡しを行い、子育ての精神的・身体的負担の軽減を図れるよう努めた。
（利用人数 ３名　利用日数 ３日　利用時間 ３時間）

令和３年度決算報告

（単位：円）

収入		支出	
会費	3,879,000	人件費	127,521,712
寄付金	2,704,407	事業費	67,194,171
経常経費補助金	54,059,219	事務費	7,856,877
受託金	56,540,972	貸付事業	790,000
貸付事業	974,000	共同募金配分金	5,311,902
事業利用料	568,950	助成金	1,104,325
介護保険事業	36,040,879	固定取得	393,030
就労支援事業	5,254,693	積立資産等	1,480
障がい福祉サービス等事業	47,089,890	その他（その他の活動）	3,131,640
補助事業	50,600	当期末支払資金	25,558,761
受取利息配当金	1,544		
その他（事業活動）	286,460		
積立資産取崩	10,218,660		
その他（その他の活動）	657,000		
前期末払資金	20,537,624		
合　　計	238,863,898	合　　計	238,863,898

令和４年度　大子町社会福祉協議会　事業計画

今日、少子高齢化・人口減少社会の到来やライフスタイルの多様化、核家族化・ひとり暮らしや高齢者のみの世帯の増加等が進行する社会情勢を背景に、官民を問わず様々な改革が進められております。

国においても、新たな法律の施行や福祉の提供ビジョンが示される等、地域包括ケアシステムの構築や地域共生社会に向けた「我が事・丸ごと」の地域づくりが推進されております。

また、地域社会や家庭の有り様が大きく変化する中で、子育てや介護をめぐる諸問題への対応、生活支援を必要とする高齢者への支援など、従来の社会福祉制度の枠組みでは対応することが難しい課題が、顕在化してきている状況にあります。

本町においても、社会福祉に対する住民の意識は複雑多様化、増大し、「地域福祉の推進」を目的とする当社会福祉協議会に寄せる期待は、益々大きなものとなっております。

こうした現状をふまえ、当社会福祉協議会としては、「だれもが安心してくらせる地域づくり」を実現するため、地域福祉事業や、障害者総合支援法に基づく事業、行政より受託している子育て支援事業、指定管理事業等を継続して運営してまいります。さらに地域が抱える様々な生活課題を的確に捉え、地域の方々やボランティア・行政・医療機関・関係団体との一層の連携を図りながら、必要な支援につなげつつ、不足する社会資源の開発や担い手の発掘を行い、住民同士で支えあえる地域づくりを進めてまいります。

令和４年度　大子町社会福祉協議会　予算

（単位：円）

収入		支出	
会費	3,960,000	人件費	129,913,000
寄付金	2,131,000	事業費	69,692,000
経常経費補助金	52,376,000	事務費	9,725,000
受託金	60,548,000	貸付事業	1,000,000
貸付事業	1,000,000	共同募金配分金	5,312,000
事業利用料	252,000	助成金	1,520,000
介護保険事業	37,020,000	固定取得	1,200,000
就労支援事業	5,082,000	その他（その他の活動）	5,320,000
障がい福祉サービス等事業	50,886,000	予備費	15,787,000
受取利息配当金	4,000		
その他（事業活動）	95,000		
前期末支払資金	26,115,000		
合　　計	239,469,000	合　　計	239,469,000

地域福祉事業	受託事業
法人運営事業（理事会、評議員会の開催等）	文化福祉会館指定管理事業
ボランティア活動の推進（ボランティア保険、連絡会の運営等）	ふれあいいきいきサロン事業（中央型サロン、地域型サロン）
地域福祉活動推進事業（地域づくり講演会等）	高齢者大学運営事業
共同募金配分金事業（福祉活動への助成、おせち品宅配事業等）	放課後児童健全育成事業
善意銀行事業（預託金品の受付配分、生活つなぎ資金貸付等）	地域子育て支援拠点事業
日常生活自立支援事業（日常的金銭管理等）	ファミリー・サポート・センター事業
権利擁護推進事業（短期預かりサービス等）	役場庁舎等清掃業務事業（大子町役場、大子町保健センター等）
介護用品事業（宅配事業、購入費助成事業）	生活支援体制整備事業
在宅介護用品等の貸出	**介護保険事業**
地域支え合いサービスセンター事業	訪問介護事業
生活福祉資金貸付事業	**その他**
地域福祉活動計画の策定準備	行政機関、福祉団体等との連携、協力
障がい福祉サービス事業	啓発活動（ホームページの活用や福祉だいご発行等）
就労継続支援事業所の運営（大子福祉作業所、若草共同作業所）	総合相談支援
特定相談支援事業所の運営	共同募金運動の推進
障がい児日中一時支援事業	

社会福祉協議会　理事・評議員紹介

（令和４年６月30日　現在）

理事 15 名（定数 10 名以上 15 名以内）
任期：令和４年６月 29 日から令和４年度会計に関する定時評議員会の終結の時

理　　事		
高梨　哲彦（会長）	齋藤　博司	藤田　雅之
飯村由美子（副会長）	大藤　博文	菊池利喜夫
圷　　陽子（副会長）	益子　珠子	笠井　敏子
金澤　眞人	手塚　宣彦	小室　健二
大藤　　猛	大髙かほる	小室　勝正

監事２名（定数２名）
任期：令和４年６月 29 日から令和４年度会計に関する定時評議員会の終結の時

監　　事	
石井　　收	神賀　美紀

評議員 30 名（定数 16 名以上 40 名以内）
任期：令和４年６月 14 日から令和６年度会計に関する定時評議員会の終結の時

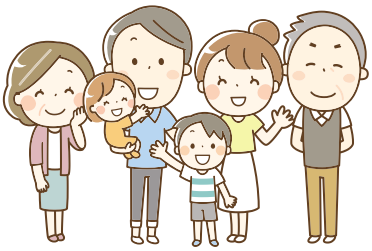
評　議　員		
柳岡　孝三	鈴木　俊嗣	石井　典憲
青木　眞三	吉成　正雄	髙林　裕幸
瀬尾　　浩	椎名　　久	小室　　薫
牧島　良子	益子　孝幸	鈴木　辰栄
吉沢　博文	齋藤　勝代	鈴木　大介
塚田　洋一	齋藤　弘美	仁平由利子
綿引　秀孝	根本　　学	片岡　久子
佐藤健一郎	蓮見　信之	大森　絹子
藤田　則子	今松美喜子	永瀬　道子
佐々木孝雄	小野瀬昭一	藤田　賢司

令和４年度社協賛助会費

ご協力ありがとうございました。

今年度の皆さんのご協力、ご支援のおかげで
3,789,900 円の会費が集まりました。

大子町社会福祉協議会賛助会費につきましては、毎年、区長、行政連絡班長をはじめ、町民の皆さんにご協力をいただき感謝申し上げます。ご協力いただきました賛助会費は、地域福祉活動、在宅福祉サービスの一層の充実、児童や障がい者(児)・高齢者福祉など、子どもから高齢者、障がい者まで「だれもが安心して暮らせる地域づくり」のため、有効に活用させていただきます。



令和４年９月30日現在（単位：円）

地区名	世帯数等	金　　額
大子地区（池田を含む）	1,351	971,300
依上地区	492	350,000
佐原地区	378	271,800
黒沢地区	482	351,000
宮川地区	582	417,000
生瀬地区	545	387,100
袋田地区	589	425,100
上小川地区	587	413,300
下小川地区	167	120,100
その他	3	83,200
合　計	5,176	3,789,900

赤い羽根共同募金

10月１日から共同募金運動がスタート

「だれもが　その人らしく　安心して暮らせる福祉社会の実現」をめざして

本年度も共同募金運動が全国一斉に実施される時期となりました。共同募金会は、子どもの貧困をなくす取り組みや地域の防犯・災害の啓発活動など、社会課題や地域課題を解決する取り組みのほか、大規模災害が発生した際の被災地支援にも役立てられます。また、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中、コロナ禍により困窮・孤立の状態にある人たちへの食糧支援や日常生活の支援も継続して行っております。町内の一人でも多くの方に支援が届くよう、これからの活動を続けてまいります。

歳末たすけあい募金

地域歳末たすけあいは、民生委員・児童委員や社会福祉協議会等が中心となり、市町村を単位に全国で行われる運動です。新たな年を迎える年末の時期に、誰もが孤立することなく、安心して暮らすことができる福祉のまちづくりへの幅広い理解と参加を図るものです。お寄せいただいた寄付金は、お正月料理を配りながらの見守り訪問など、支援を必要としている人たちが安心して新年を迎えることができるよう様々な福祉活動に役立てます。

日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な認知症高齢者や知的または精神障がい者等が地域で自立した生活が送れるよう支援します。

【内容】

福祉サービスの利用に関する情報提供、相談、手続きの支援・福祉サービスや日常生活上必要な公共料金等の支払いの手続き、代行・日常生活に必要な事務手続きの支援・大切な通帳や判子などの書類等の預かり。

【利用料】

福祉サービス利用援助（金銭管理支援含む）	１時間	1,100 円
書類等預かり	１か月	500 円（貸金庫を使用する場合）

※生活保護世帯は無料です

「知りたい福祉!!」教室 ～盲導犬との生活とは？～

８月１日(月)に町内に在住の方を対象とした、「知りたい福祉 !!」教室～知ることから始めよう！盲導犬との生活とは？～を開催いたしました。

講師として、那珂市在住で視覚障がい者の村上守氏と妻の真理子氏、盲導犬ギルをお呼びし、お二人の演奏を交えながら視覚障がい者の生活について学びました。

参加者からは「白棒をつかっている人を見かけることがあり、どのような生活をしているのか分からなかった。目の見えにくい人の生活への理解が深まった。」「ハーネスを付けている時は “ 話しかけない ” 勉強になりました。」「盲導犬が人の人生や命までしっかり役目を果たしていく様は立派です。」との声がありました。

～社協の事業を紹介します～

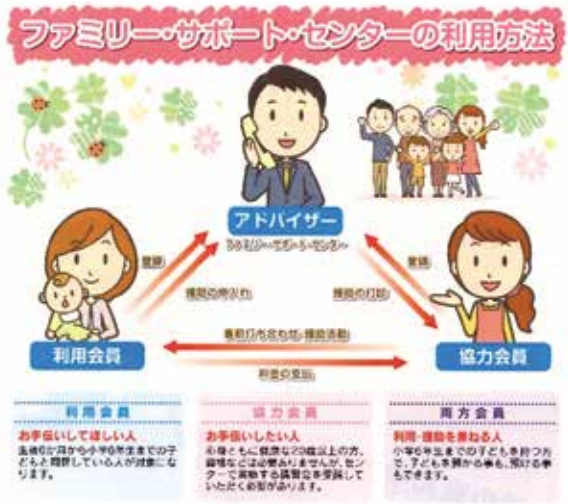
大子町ファミリー・サポート・センター

略して「ファミサポ」!!

この事業は、育児に関してお手伝いをしてほしい人「利用会員」と、お手伝いができる人「協力会員」が会員として登録し、会員同士が相互援助活動を行う事業です。

≪このようなお手伝いをします≫

・保護者の外出の際（学校行事や冠婚葬祭等）の一時的なお子さんの預かり
・町内の保育所（園）・幼稚園・学童クラブへのお子さんの送り迎え
・保育施設や小学校などの開始前や終了後のお子さんの預かり



「利用会員」と「協力会員」の交流会

あなたの善意で福祉のまちづくり

善意銀行

社会福祉協議会には、町民の皆さんの温かい善意がたくさん寄せられます。その温かいお気持ちを大切にして、町民の福祉のため有効に活用させていただいているのが《善意銀行》です。

善意銀行に金品を預託された方々をご紹介いたします。

令和４年３月22日～令和４年９月30日（敬称略　単位：円）

芳　名・住　所	預託金品	芳　名・住　所	預託金品
大子町立大子幼稚園	12,297	藤田いち　浅川	4,321
大子町子ども会育成連合会	5,277	㈱ベアーメディック	空気清浄機
水戸ヤクルト販売㈱	空気清浄機	茨城県社会福祉協議会	飲料水
北吉沢寿会	62,300	その他 17 名	8 件分　291,745 衣類 絵本 フロアカール バイクスタンド 手編みベスト キーホルダー 米 ソリティア
益子光洋　下野宮	100,000		
圷文男　池田	100,000		
椎名義正　袋田	100,000		

令和３年度　善意銀行　預託・払出報告

＜預託状況＞

物品件数	金銭件数	金　額	備　考
19 件	53 件	2,542,082 円	一般預託金（50 件）　2,479,757 円 指定寄付（３件）　62,325 円

＜払出状況＞（金銭預託は令和２年度預託金分を令和３年度で払出）

物品件数	金　額	備　考	
17 件	1,682,392 円（指定寄付分 62,325 円含む）	安心箱配付事業（バスタオル・衣装ケースを配分）	86,845 円
		子育て支援（幼稚園・保育所（園）・子育て支援センターへ遊具・玩具を配分）	348,350 円
		車いす対応福祉車輌経費（車検代含む）	285,261 円
		フードバンク（18 件）	27,200 円
		災害見舞金（熱海市）	50,000 円
		生活つなぎ資金貸付金（28 件）	790,000 円
		その他 (車いす部品代、事務消耗品代等)	32,411 円
		（指定寄付）大子福祉作業所	62,325 円

社会福祉法人　大子町社会福祉協議会
〒 319-3526　茨城県久慈郡大子町大子 722-1
大子町文化福祉会館「まいん」内
電　話：0295-72-2005　FAX：0295-72-1121
E-mail：daigo-syakyo@ia8.itkeeper.ne.jp　ＵＲＬ：http://daigo-syakyo.jp/

ホームページ　Facebook

□大子町子育て支援センター　電話　0295-72-1120
□若草共同作業所　大子町大子 1846　電話　0295-72-1923
□大子福祉作業所　大子町池田 1513　電話　0295-72-2126
□訪問介護事業所リケア　大子町浅川 1253　電話　0295-76-8820